

Dell C8621QT ユーザーガイド

モデル:C8621QT
規制モデル:C8621QTt



-  注: メモは、ディスプレイをうまく使いこなすために役立つ重要な情報を示します。
-  注意: 注意とは、指示に従わなかった場合、ハードウェアの損傷またはデータの喪失につながる可能性があることを意味します。
-  警告: 警告とは、資産の損傷、人の怪我または死亡につながる可能性があることを意味します。

Copyright © 2020 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標です。

2020年 – 03月

版数: A00

目次

ディスプレイについて.....	5
パッケージの内容.....	5
製品の特徴.....	7
部品およびコントロールの特定.....	8
ディスプレイの仕様.....	12
プラグアンドプレイ.....	24
LCD ディスプレイの品質およびピクセルに関するポリシー.....	24
ディスプレイの設定.....	25
ディスプレイの接続.....	25
壁取り付け (オプション).....	29
リモコン.....	30
ディスプレイの操作.....	33
ディスプレイをオンに切り替える.....	33
タッチ OSD ランチャー.....	33
マグネットに関する注意事項.....	34
スタイラスの使用.....	34
タッチコントロールランチャーの使用.....	36
OSDのロック機能を使用中.....	37
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用.....	38
ディスプレイ用 Dell Web 管理.....	51



トラブルシューティング	56
セルフテスト	56
内蔵診断	58
一般的な問題	59
製品仕様に関する問題	61
タッチスクリーンに関する問題	62
ユニバーサルシリアルバス (USB) 固有の問題	63
イーサネットに関する問題	64
付録	65
安全に関する指示事項	65
FCC 通知 (米国のみ) および他の規制に関する情報	65
Dell へのお問合せ	65
ディスプレイの設定	66
保守に関するガイドライン	68



ディスプレイについて

パッケージの内容

ディスプレイは、以下に示すコンポーネントと共に出荷されます。すべてのコンポーネントが揃っていることを確認してください。欠けているものがあれば、[Dell に連絡してください](#)。

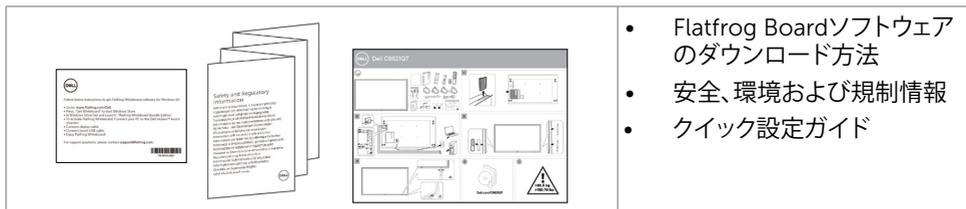
 **注:** 一部のコンポーネントはオプションで、モニターに付属していない場合があります。一部の国では一部の機能が利用できない場合があります。

	ディスプレイ
	リモコン & 電池 (単四電池 x 2 本)
	スタイラス x 2 式



	リモコンホルダー
	ワイヤーサドル x 3 式
	スタイラスペン先 x 2 式
	電源ケーブル (国により異なります)
	Optiplex システムをディスプレイに接続するための電源ケーブル (Optiplex (オプション) をご覧ください)
	USB 3.1 アップストリームケーブル (ディスプレイ上で USB ポートを有効化します)
	DP ケーブル (DP – DP)
	USB Type-C ケーブル
	HDMI ケーブル





- Flatfrog Boardソフトウェアのダウンロード方法
- 安全、環境および規制情報
- クイック設定ガイド

製品の特徴

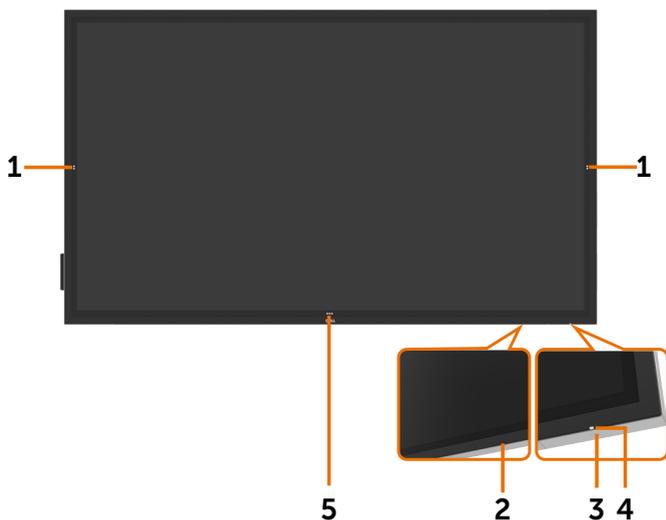
Dell C8621QT ディスプレイは、アクティブマトリックス、薄膜トランジスター (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、および、LED バックライトを装備しています。ディスプレイの特徴は、以下の通りです：

- 217.427 cm (85.60 インチ) 有効領域表示 (対角線方向に測定) 3840 x 2160 (16:9 のアスペクト比) の解像度、および、低解像度に対するフルスクリーンサポート。
- ビデオエレクトロニクス規格協会 (VESA™) 600 x 400 mm の取り付け穴。
- 内蔵スピーカー (2 x 20W) New Sunlink。
- ご利用のシステムがサポートする場合のプラグアンドプレイ機能。
- 簡単に設定および画面最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- セキュリティロックスロット。
- 資産管理機能をサポート。
- パネルに無ヒ素ガラスおよび無水銀ガラスのみを使用。
- 0.3 W スタンバイ電源 (スリープモード時)。
- Dell Optiplex Micro PC を用いる簡単な設定 (マイクロフォームファクター)。
- 最大 20 ポイントおよび 4 本のペンによる InGlass™ タッチ技術。
- ちらつきのない画面により、眼の快適さを最適化。
- ディスプレイからのブルーライト放射の潜在的な長期間の効果により、眼疲労またはデジタル眼精疲労を含む眼に対する損傷を引き起こす可能性があります。ComfortView 機能は、眼の快適さを最適化するために、ディスプレイから放射されるブルーライトの量を減らします。



部品およびコントロールの特定

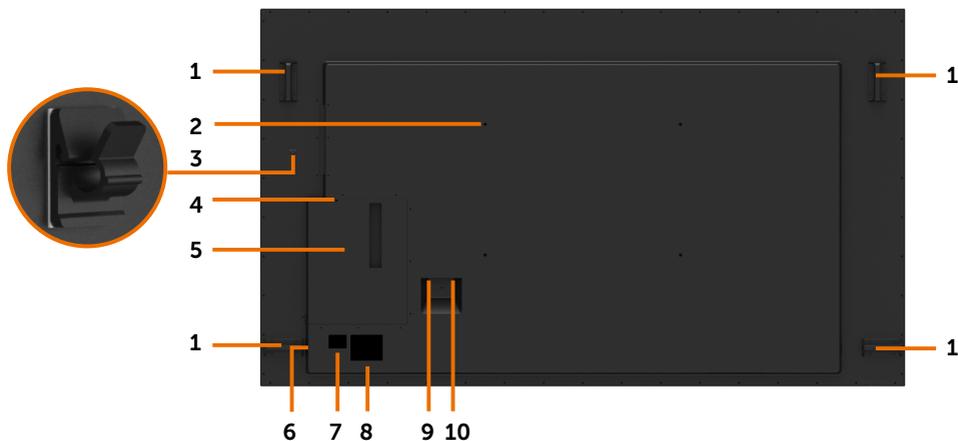
正面図



ラベル	説明
1	画面ドロップダウンタッチキー
2	IR レンズ
3	電源オン/オフボタン
4	電源 LED インジケータ
5	OSD ランチャータッチキー (更なる情報については、 ディスプレイの操作 をご覧ください)



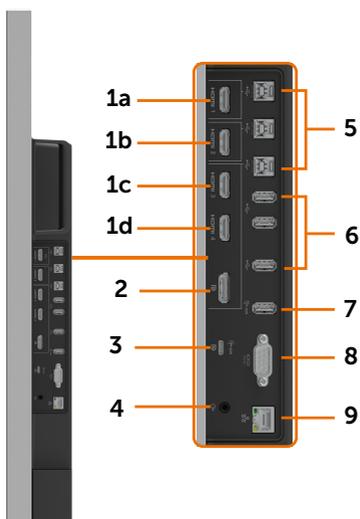
背面図



ラベル	説明	用途
1	ハンドル x 4 式	ディスプレイを移動するために使用します。
2	VESA 取り付け穴 (600 x 400 mm)	ディスプレイを取り付けるために使用します。
3	USB タイプ -C ケーブルクリップ	USB Type-C ケーブルの取り回しに使用します。
4	セキュリティロックスロット	セキュリティケーブルロックを使って、Optiplex を固定します (別売)。
5	Optiplex ホルダー	マイクロフォームファクター Optiplex PC を保持するために使用します。
6	シリアル番号、サービスタグラベル、およびウェブサイト	技術サポートのため、Dell に連絡する必要がある場合は、このラベルを参照してください。
7	バーコード、シリアル番号、および、サービスタグラベル	
8	規制ラベル	承認された規制ラベルの一覧。
9	AC - Optiplex	AC 電源 - Optiplex 電源アダプター (オプション)。
10	AC 電源コネクタ	ディスプレイ電源コネクタを接続します。



側面図

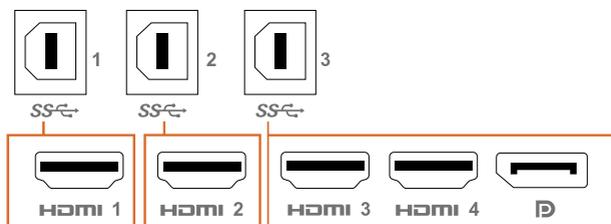


ラベル	説明	用途
1a	HDMI 1 コネクタ	HDMI ケーブルを使って、コンピューターを接続します。
1b	HDMI 2 コネクタ	
1c	HDMI 3 コネクタ	
1d	HDMI 4 コネクタ	
2	DP コネクタ	DP ケーブルを使って、コンピューターを接続します。
3	USB タイプ C/ DisplayPort	<p>USB タイプ C ケーブルを使用して、コンピューターに接続します。</p> <p>USB 3.1 タイプ C ポートは、最高の転送速度を提供し、DP 1.2 を用いる代替モードは、60Hz において 3840 x 2160 の解像度、60Hz を実現し、また、PD 20V/4.5A、15V/3A、9V/3A、5V/3A を提供します。</p> <p>注意：USB タイプ C は、Windows 10 より前のバージョンの Windows ではサポートされていません。</p>
4	オーディオライン出力ポート	<p>外部オーディオ周辺機器に接続します。</p> <p>2 チャンネルオーディオのみをサポートします。</p> <p>注：オーディオライン出力ポートは、ヘッドホンをサポートしません。</p>



5	USB 3.1 アップストリームポート (3)	ディスプレイからの USB ケーブルをコンピューターに接続します。このケーブルが接続されると、ディスプレイ上の USB ダウンストリームコネクタおよびディスプレイ上のタッチスクリーン機能を使用することができます。 注: 入力ソースおよび USB ペアリング に関するセクションを参照してください。
6	USB 3.1 ダウンストリームポート (3)	USB デバイスを接続します。 USB ケーブルをコンピューターおよびディスプレイ上の USB アップストリームコネクタに接続した後でのみ、このコネクタを使用することができます。
7	USB 充電ポート	2A (最大) で BC1.2 充電機能を備えた 10 W の USB 3.1。
8	RS232 コネクタ	RS232 を介するリモート管理および制御。
9	RJ-45 コネクタ	RJ-45 を介するリモート管理および制御。

入力ソースおよび USB ペアリング



入力ソース	USB アップストリーム
HDMI 1	USB 1
HDMI 2	USB 2
HDMI 3	USB 3
HDMI 4	
DP	

下面図



ラベル	説明
1、2	スピーカー
3	電源オン / オフボタン



ディスプレイの仕様

画面タイプ	アクティブマトリックス - TFT LCD
パネルタイプ	IPS 技術
アスペクト比	16:9
表示可能画像 寸法	
対角	217.427 cm (85.60 インチ)
有効領域	
水平方向	1895.04 mm (74.60 インチ)
垂直方向	1065.96 mm (41.97 インチ)
面積	2020036.84 mm ² (3130.96 インチ ²)
ピクセルピッチ	0.4935 mm x 0.4935 mm
PPI (1 インチ当たりのピクセル数)	25
視野角	
水平方向	178度 (標準)
垂直方向	178度 (標準)
パネルの輝度	350 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1200 対 1 (標準)
ディスプレイ画面のコーティング	9H、汚れ防止、反射防止
応答時間	標準 8 ミリ秒 (G - G)、最大 12 ミリ秒 (G - G)
色深度	10 億 7,000 万色
色域	NTSC (72 %)
接続	<ul style="list-style-type: none">• 1 x DP 1.2• 1 x USB Type-C (DisplayPort 1.2 と互換モード、Power Delivery PD は最大 90 W)• 4 x HDMI 2.0• 4 x USB 3.1 ダウンストリームポート (2A で充電能力 (最大) を持つ 1 x USB)• 3 x USB 3.1 アップストリームポート• 1 x アナログ 2.0 オーディオライン出力 (3.5 mm ジャック)• 1 x RJ-45• 1 x RS232
ボーダー幅 (ディスプレイのエッジから有効領域)	43.72 mm (1.72 インチ) (上部) 43.80 mm (1.72 インチ) (左 / 右) 46.96 mm (1.85 インチ) (下部)



タッチ

タイプ	InGlass タッチ技術™
入力方法	素手の指およびスタイラス
インターフェイス	USB HID 互換
タッチポイント	最大 20 ポイントのタッチ 最大 4 本のペン

注: タッチ、ペン、消しゴムの区別が可能 (機能はアプリケーションに従います)。

サポートする OS

OS	バージョン	タッチ	ペン	消しゴム
Windows	7 Pro および Ultimate	20	4	1
	8、8.1	20	4	1
	10	20	4	1
Chrome OS	Linux カーネルバージョン 3.15 (3.10) またはそれ以降 ¹	20	4 (0)	1 (0)
Android	4.4 (KitKat) (Linux カーネル 3.15 (3.10) またはそれ以降による) ¹	20	4 (0)	1 (0)
その他の Linux ベースの OS	Linux カーネル 3.15 またはそれ以降	20	4	1
Mac OS	10.10、10.11	1 (マウス ²)		非対応

¹ Linux カーネルの機能は、Ubuntu 14.04 および Debian 8 上で確認されています。Chrome OS および Android (Linux カーネル 3.15 による) の機能は、確認が必要です。

² 横モードにおけるマウスエミュレーション。フルマルチタッチは、ホストシステム上のドライバーを必要とします。

タッチセンサーの入力精度

		標準 ¹	最大 ²	単位
タッチセンサーの入力精度	中心領域 ³	1.0	1.5	mm
	エッジ領域 ⁴	1.2	2.0	mm

¹ 指定された入力領域における平均精度。

² 指定された入力領域の 95 パーセントの精度。

³ >有効タッチ領域のエッジから 20 mm

⁴ >有効タッチ領域のエッジから 20 mm

タッチセンサーの入力精度は、参照図面 (8.1 に記載) において定義される通り、有効タッチ領域に対して定義されます。ディスプレイ座標に対するタッチ座標系の全体的なシステム精度は、統合アセンブリのしきい値の影響を受けます。



スピーカーの仕様

スピーカー定格出力	2 x 20 W
周波数応答	120 Hz - 20 kHz
インピーダンス	8 Ω

解像度の仕様

水平走査範囲	30 kHz ~ 140 kHz (DP/HDMI)
垂直走査範囲	24 Hz ~ 75 Hz (DP/HDMI)
最大事前設定解像度	3840 x 2160 (60 Hz 時)
動画表示能力 (DP & HDMI 再生)	480p、576p、720p、1080i、1080p、2160p

事前設定表示モード

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
1280 x 800	49.3	60.0	71.0	+/+
1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	-/+
1920 x 1080	67.5	60.0	193.5	+/+
2048 x 1152	71.6	60.0	197.0	+/-
2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-
3840 x 2160	65.68	30.0	262.75	+/+
3840 x 2160	133.313	60.0	533.25	+/+



電氣的仕様

動画入力信号	<ul style="list-style-type: none">各差動ラインに対するデジタル動画信号 100 Ωインピーダンスにおける差動ライン当たりDP/HDMI/USB Type-C 信号入力をサポート
入力電圧/周波数/電流	AC 100 ~ 240 V/ 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 7.0 A (最大)
出力電圧/周波数/電流	AC 100 ~ 240 V/ 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 2 A (最大)
突入電流	120 V:42 A (最大) (0 °Cにおける) (コールドスタート) 240 V:80 A (最大) (0 °Cにおける) (コールドスタート)

物理特性

コネクタータイプ	<ul style="list-style-type: none">DP コネクターUSB Type-C コネクターHDMI コネクターオーディオライン出力USB 3.1 コネクターUSB 充電ポート - 接続された機器に最大で 5 V (最大 2A) の電力を供給しますRJ-45 コネクターRS232 コネクター
信号ケーブルタイプ (付属)	DP、3 m ケーブル HDMI、3 m ケーブル USB 3.1、3 m ケーブル USB Type-C、1.8 m ケーブル Optiplex 電源ケーブル、1 m
寸法	
高さ	1156.63 mm (45.54 インチ)
幅	1982.64 mm (78.06 インチ)
深さ	82.8 mm (3.26 インチ)
重量	
重量 (梱包を含む)	114.5 kg (252.43 ポンド)
重量 (梱包を除く)	86.5 kg (190.70 ポンド)



環境特性

互換規格	
<ul style="list-style-type: none"> ENERGY STAR 認定モニター RoHS 互換 	
温度	
動作	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
非動作	-20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F)
湿度	
動作	10% to 80% (結露なし)
非動作	5% to 90% (結露なし)
高度	
動作	5,000 m (16,404 フィート) (最大)
非動作	12,192 m (40,000 フィート) (最大)
熱放散	
	1467.22 BTU/時 (最大) 597.12 BTU/時 (標準)

電源管理モード

VESA の DPM 互換ビデオカードまたはソフトウェアが PC にインストールされている場合、ディスプレイは、使用しないとき、その消費電力を低減します。これは、省電力モードと呼ばれます*。コンピューターが、キーボード、マウスまたは他の入力デバイスから入力を検出した場合、自動的にディスプレイは、機能を再開します。次の表は、この自動省電力機能の消費電力および信号を示します。

VESA モード	水平同期	垂直同期	動画	電源インジケータ	消費電力
通常動作	アクティブ	アクティブ	アクティブ	白色	430 W (最大)** 175 W (標準)
アクティブオフモード	非アクティブ	非アクティブ	オフ	白色 (点灯)	未満 0.3 W
スイッチオフ				オフ	未満 0.3 W

消費電力 P_{on}	142.60 W
総エネルギー消費量 (TEC)	該当なし



OSD は、通常動作モードにおいてのみ動作します。アクティブオフモードにおいて、ボタンを押すと、次のメッセージが表示されます：



* オフモードにおけるゼロ消費電力は、ディスプレイから AC 電源ケーブルを切断することによってのみ、達成することができます。

** 最大輝度による最大消費電力とUSBアクティブ。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を記載しております。お買い求めになった製品はご注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては異なる性能を示すことがあります。かかる情報を更新する義務はその製品にありません。そのため、電気の許容範囲やその他について意志決定するとき、お客様はこの情報に頼るべきではありません。精度または完全性に関しては、明示的にも黙示的にも何の保証もありません。

OSD に対するアクセスを得るには、コンピューターおよびディスプレイをアクティブ化します。



本製品は工場出荷時の設定でENERGY STARに適合しており、OSDメニューにある「工場出荷時の値にリセット」機能を使って復元することができます。工場出荷時の設定を変更したり、他の機能を有効にすると、消費電力がENERGY STARで指定されている限界値を超えた値に増大する可能性があります。

注意：

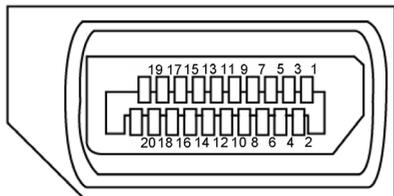
P_{on}: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りのモードの電力消費。

TEC: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りの合計エネルギー消費量 (kWh)。



ピンの割り当て

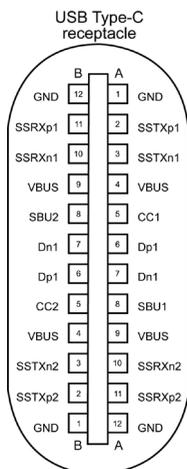
DP コネクター



ピン番号	信号ケーブルに接続される 20 ピン側
1	ML3 (n)
2	GND
3	ML3 (p)
4	ML2 (n)
5	GND
6	ML2 (p)
7	ML1 (u)
8	GND
9	ML1 (p)
10	ML0 (n)
11	GND
12	ML0 (p)
13	構成 1/(GND)
14	構成 2/(GND)
15	AUX CH (p)
16	DP ケーブル検出
17	AUX CH (n)
18	ホットプラグ検出
19	GND
20	+3.3V DP_PWR



USBタイプCコネクタ

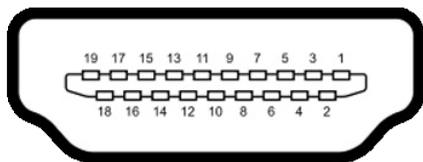


typically connected to a charger
through a Type-C cable

PIN	信号	PIN	信号
A1	GND	B12	GND
A2	SSTXp1	B11	SSRXp1
A3	SSTXn1	B10	SSRXn1
A4	VBUS	B9	VBUS
A5	CC1	B8	SBU2
A6	Dp1	B7	Dn1
A7	Dn1	B6	Dp1
A8	SBU1	B5	CC2
A9	VBUS	B4	VBUS
A10	SSRXn2	B3	SSTXn2
A11	SSRXp2	B2	SSTXp2
A12	GND	B1	GND



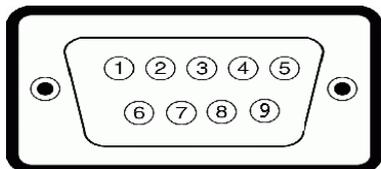
HDMI コネクター



ピン番号	接続される信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS データ 2+
2	TMDS データ 2 シールド
3	TMDS データ 2-
4	TMDS データ 1+
5	TMDS データ 1 シールド
6	TMDS データ 1-
7	TMDS データ 0+
8	TMDS データ 0 シールド
9	TMDS データ 0-
10	TMDS クロック+
11	TMDS クロックシールド
12	TMDS クロック-
13	CEC
14	予約済み (デバイス上で N.C.)
15	DDC クロック (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC グランド
18	+5 V 電源
19	ホットプラグ検出



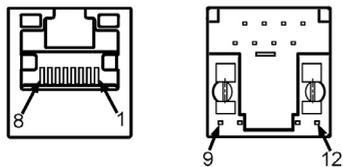
RS232 コネクター



ピン番号	接続される信号ケーブルの 9 ピン側
1	-
2	RX
3	TX
4	-
5	GND
6	-
7	未使用
8	未使用
9	-



RJ-45 コネクター



ピン番号	接続される信号ケーブルの 12 ピン側
1	D+
2	RCT
3	D-
4	D+
5	RCT
6	D-
7	GND
8	GND
9	LED2_Y+
10	LED2_Y-
11	LED2_G+
12	LED2_G-



ユニバーサルシリアルバス (USB)

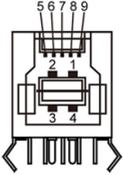
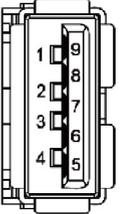
本セクションでは、ディスプレイ上で利用可能な USB ポートに関する情報を提供します。

ご利用のコンピューターには、次の USB ポートがあります：

- 3 x USB 3.1 アップストリームポート
- 4 x USB 3.1 ダウンストリーム (1 x USB 充電ポート)

注：ディスプレイの USB ポートは、ディスプレイがオンまたは省電力モードである場合にのみ動作します。ディスプレイをオフに切り替え、その後、オンに切り替えた場合、接続された周辺機器は、通常機能を再開するまで、数秒間かかる場合があります。

転送速度	データレート	消費電力
超高速	5 Gbps	4.5 W (最大、各ポート)
高速	480 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)
フルスピード	12 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)

USB 3.1 アップストリームポート		USB 3.1 ダウンストリームポート	
			
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	VBUS	1	VBUS
2	D-	2	D-
3	D+	3	D+
4	GND	4	GND
5	StdB_SSTX-	5	StdA_SSRX-
6	StdB_SSTX+	6	StdA_SSRX+
7	GND_DRAIN	7	GND_DRAIN
8	StdB_SSRX-	8	StdA_SSTX-
9	StdB_SSRX+	9	StdA_SSTX+
シールド	シールド	シールド	シールド



プラグアンドプレイ

ディスプレイを任意のプラグアンドプレイ互換システムにインストールすることができます。コンピューターが、コンピューターを構成し、表示設定を最適化できるよう、ディスプレイは、ディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコルを使って、その拡張ディスプレイ識別データ (EDID) をコンピューターに提供します。ほとんどのディスプレイのインストールは自動です。必要に応じて、異なる設定を選択することができます。ディスプレイ設定の変更に関する更なる情報については、[ディスプレイの操作](#)をご覧ください。

LCD ディスプレイの品質およびピクセルに関するポリシー

LCD ディスプレイの製造プロセス中、1つまたは複数のピクセルが変更できない状態に固定されることは、珍しいことではありません。これらのピクセル、ほとんど見えず、表示品質または有用性に影響を与えることはありません。LCD ディスプレイのピクセルに関する方針については、以下の Dell サポートサイトをご覧ください: <http://www.dell.com/support/monitors>。



ディスプレイの設定

ディスプレイの接続

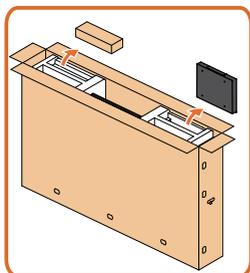
⚠ 警告:本セクションの手順を開始する前に、[安全に関する指示事項](#)に従ってください。

ディスプレイをコンピューターに接続するには:

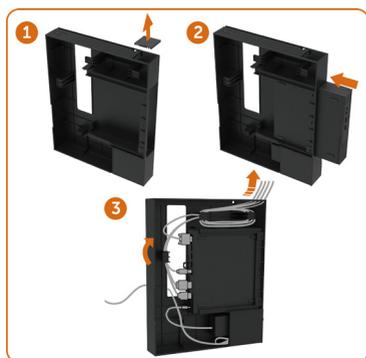
1. コンピューターをオフに切り替えます。
2. HDMI/DP/USB Type-C/USB ケーブルをディスプレイからコンピューターに接続します。
3. ディスプレイをオンに切り替えます。
4. ディスプレイの OSD メニューで、正しい入力ソースを選択し、コンピューターをオンに切り替えます。

Optiplex (オプション)

Optiplex の接続



- カートンを開封し、Optiplexホルダーおよびアクセサリーボックスを取り出します。
- アクセサリー内容: ケーブル、リモコンおよび電池、リモコンホルダー、スタイラス、ワイヤサドル、およびマニュアル。



1. ケーブルカバーを取り外します。
2. Optiplex PCと電源アダプターを各々に対応したコンパートメントに挿入します。
3. ケーブルを差し込み、PCボックスホルダー内のケーブル管理用フックを使ってケーブルを配線します。

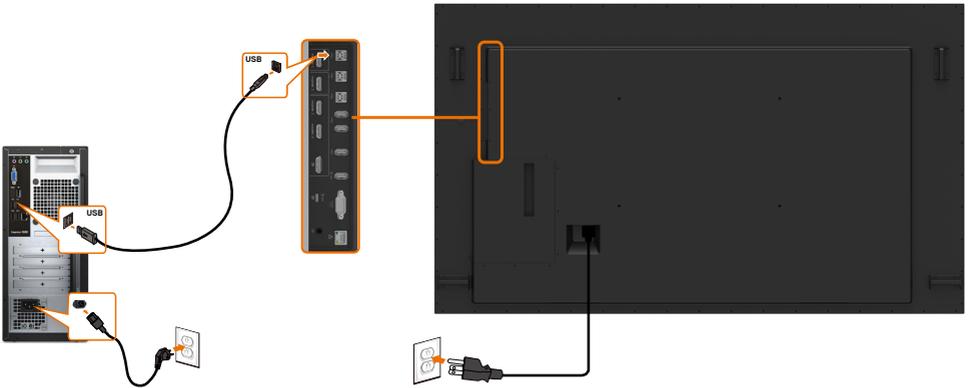




- Optilex ホルダーをディスプレイにスライドさせます。

外部 PC 接続

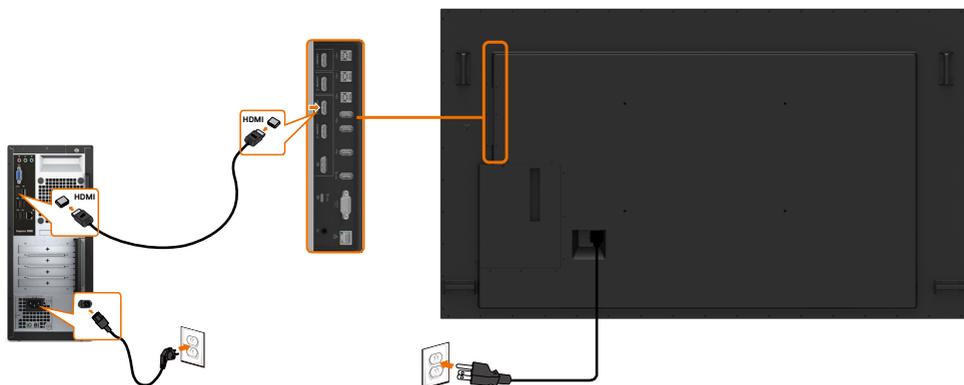
USB ケーブルの接続



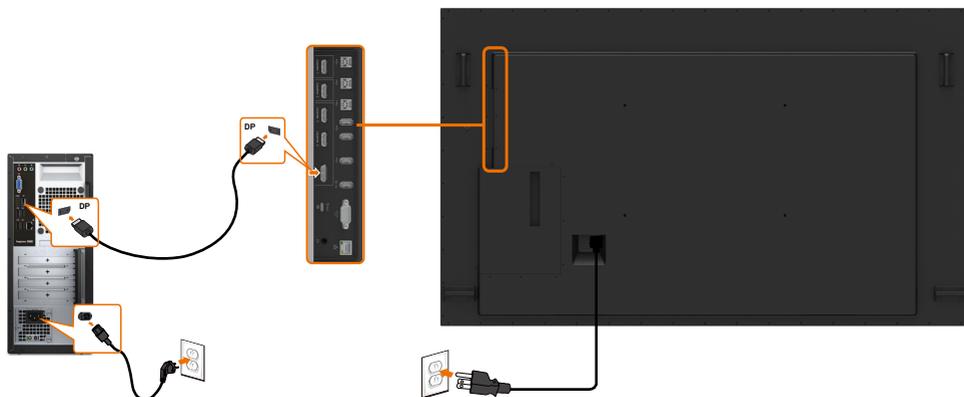
注: 入力ソースおよび USB ペアリングに関するセクションを参照してください。



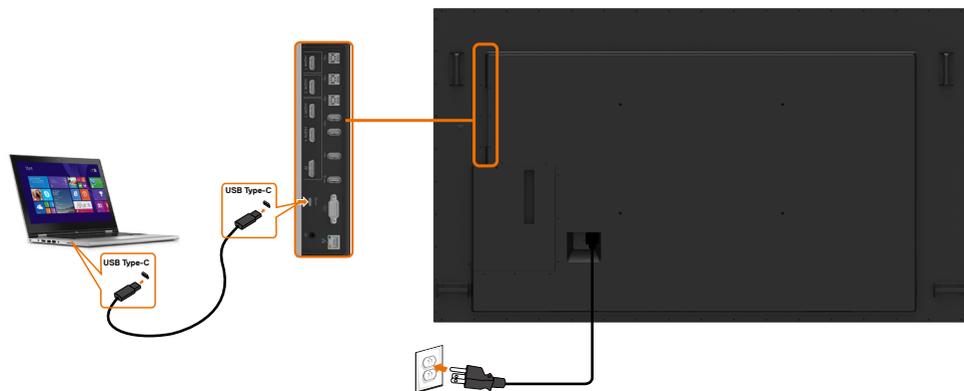
HDMI ケーブルの接続



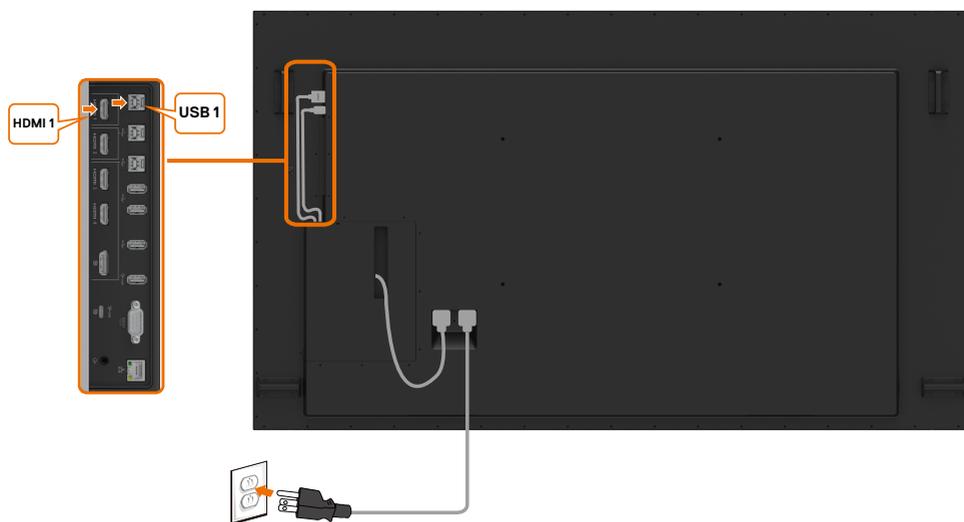
DP ケーブルの接続



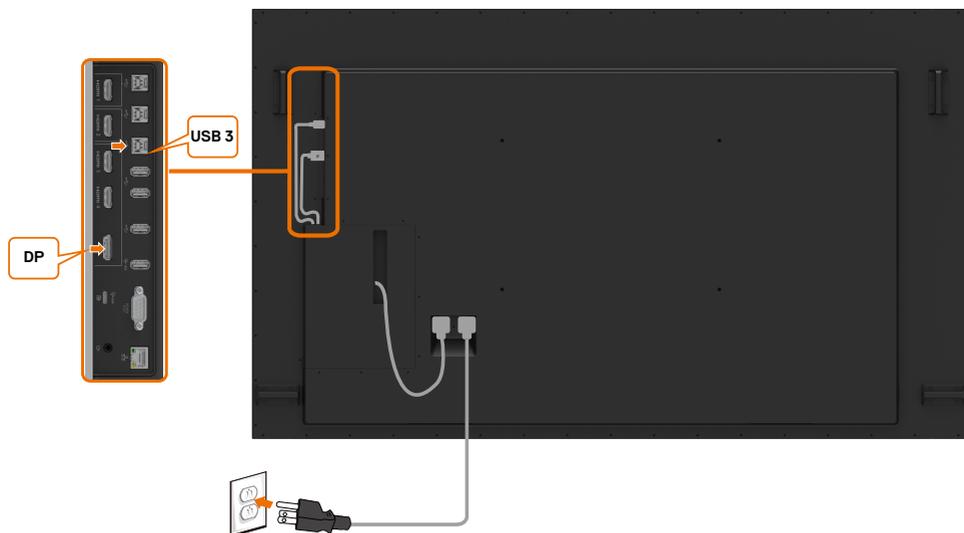
USB Type-C ケーブルの接続



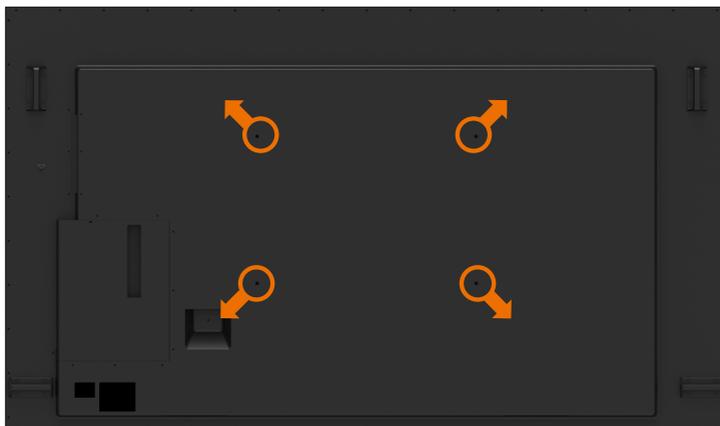
Optiplex の接続 HDMI ケーブルの接続



DP ケーブルの接続



壁取り付け (オプション)



(ネジ寸法:M8 x 35 mm)。

お客様が購入するサードパーティ製壁取り付けキットに付属の取り付け手順を参照してください。VEAS 互換ベース取り付けキット (600 x400) mm。

1. 壁プレートを壁に取り付けます。
2. ディスプレイパネルを安定した平らなテーブルの上の柔らかい布またはクッションの上に置きます。
3. 壁取り付けキットの取り付けブラケットをディスプレイに取り付けます。
4. ディスプレイを壁プレートに取り付けます。
5. ディスプレイが、前後に傾くことなく、鉛直に取り付けられていることを確認し、ディスプレイの取り付けをサポートするためにレベラーを使用します。

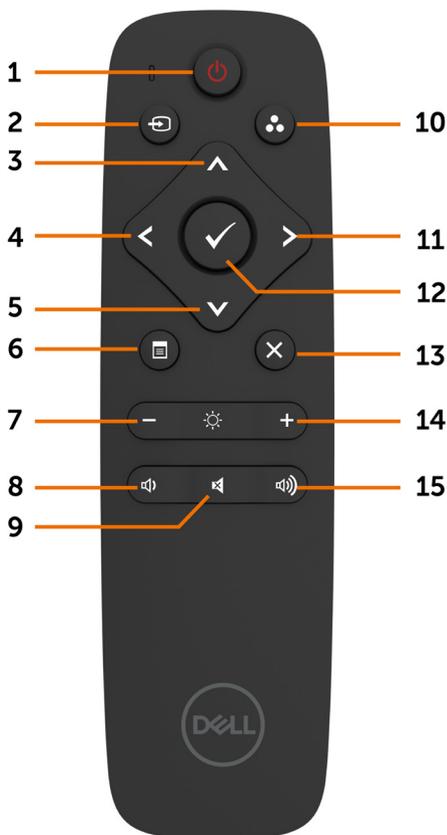
注:

- タッチディスプレイをお客様自身で取り付けようとしないでください。資格のある設置者が取り付けを行う必要があります。
- このディスプレイの推奨される壁取り付けについては、DellサポートWebサイト(dell.com/support)に掲載されています。

注: 本製品の最小重量/荷重負担能力を備えている、UL、CSA、あるいはGSに記載されている壁取り付け用ブラケットのみを使用してください。



リモコン



1. 電源オン/オフ

ディスプレイをオンまたはオフに切り替えます。

2. 入力ソース

入力ソースを選択します。▲ または ▼ ボタンを押して、

USB Type-C、DP、HDMI 1、HDMI 2 または HDMI 3、HDMI 4 から選択します。

✓ ボタンを押して、確認および終了します。

3. 上

OSD メニューの選択を上に移動します。

4. 左

OSD メニューの選択を左に移動します。

5. 下

OSD メニューの選択を下に移動します。

6. メニュー

OSD メニューをオンに切り替えます。

7. 輝度 -

輝度を下げます。

8. 音量 -

音量を下げます。

9. 消音

消音機能のオン/オフを切り替えます。

10. 事前設定モード

事前設定モードに関する情報を表示します。

11. 右

OSD メニューの選択を右に移動します。

12. OK

入力または選択を確認します。

13. 終了

メニューを終了します。

14. 輝度 +

輝度を上げます。

15. 音量 +

音量を上げます。

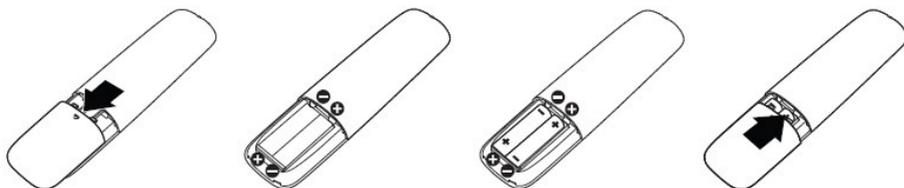


電池をリモコンに挿入する

リモコンは、2本の1.5V単四電池により、電源を供給されます。

電池を取り付け又は交換するには：

1. カバーを押し、スライドさせて、開きます。
2. 電池室の (+) および (-) 表示に従い、電池を位置合わせします。
3. カバーを取り付けます。



△ 注意: 電池の誤った使用は、液漏れ又は破裂につながる恐れがあります。次の指示に従ってください：

- 「単四」電池を各電池の (+) および (-) 記号を電池室の (+) および (-) 記号に合わせて配置します。
- 電池種類を混ぜないようにしてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜないようにしてください。電池の寿命を短くしたり、液漏れを引き起こす恐れがあります。
- 使い終わった電池を直ちに取り外し、電池室での液漏れを防止してください。漏れた電池酸に触れないようにしてください。肌が損傷する恐れがあります。

🔪 注: リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。

リモコンの取り扱い

- 強い衝撃を与えないようにしてください。
- リモコンに水または他の液体のしぶきがかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合は、直ちに拭いて乾かしてください。
- 熱または蒸気に曝さないようにしてください。
- 電池の取り付け以外に、リモコンを開かないようにしてください。

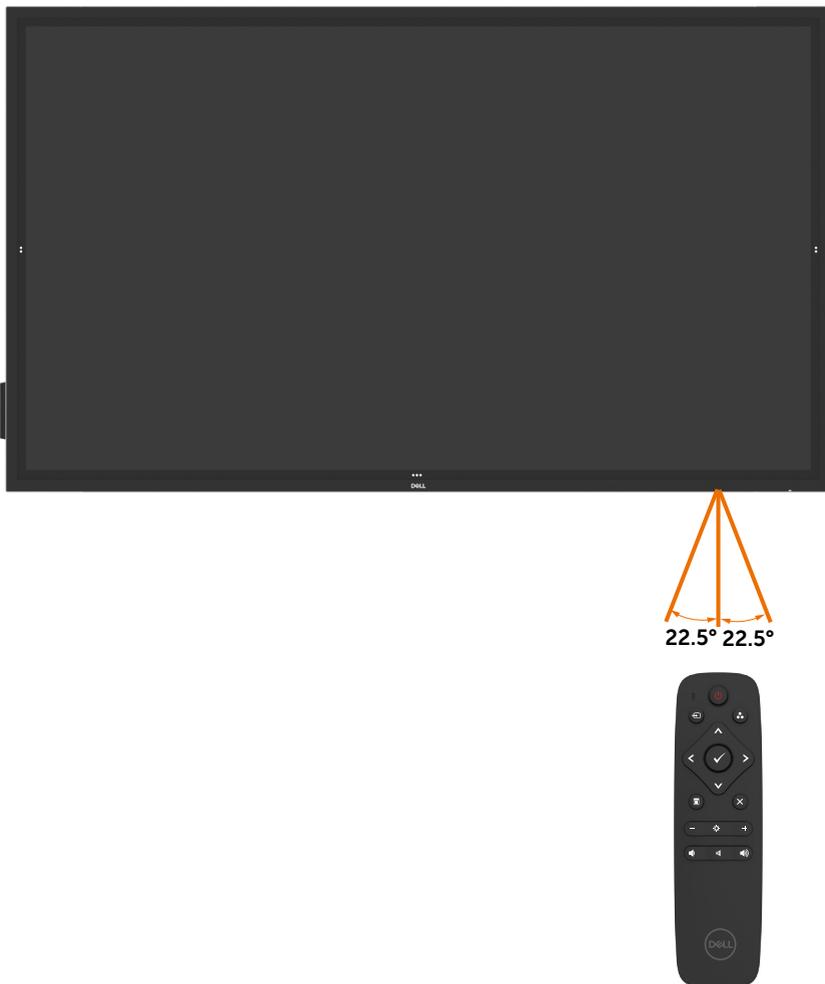


リモコンの動作範囲

ボタンの操作中は、リモコンの上部を LCD ディスプレイのリモコンセンサーに向けてください。

リモコンをリモコンセンサーから約 7 m 以内の距離、または、22.5 度以内の垂直および水平角度の約 7 m 以内の距離で使用してください。

注: ディスプレイ上のリモコンセンサーが、直射日光または強力な照明下にある場合、または、信号の伝送パス内に障害物がある場合、リモコンが正常に動作しない恐れがあります。



ディスプレイの操作

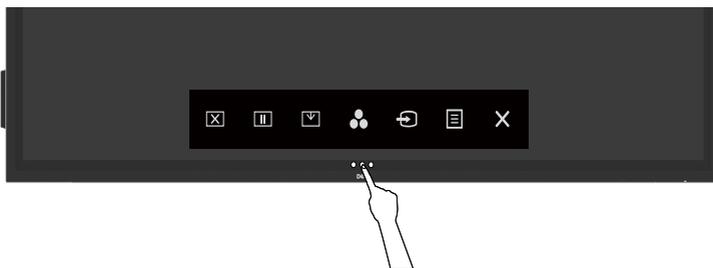
ディスプレイをオンに切り替える

電源ボタンを押して、● ディスプレイのオンおよびオフを切り替えます。白色 LED は、ディスプレイがオンであり、完全に機能していることを示します。点灯する白色 LED は、DPMS 省電力モードを示します。



タッチ OSD ランチャー

このディスプレイには、タッチ OSD 機能が搭載されています。OSD ランチャータッチキーを押して、機能にアクセスします。



マグネットに関する注意事項

ペースメーカーへの干渉を避けてください。メーカーおよび各研究グループからの推奨に基づき、起こりうる干渉を防ぐために、製品とペースメーカーとの距離は最低15 cm (6インチ)を保ってください。ご使用の製品がペースメーカーまたはその他医療装置と干渉を起こしていると疑われる場合は、スタイラスとの間隔を即座に離して、ペースメーカーまたは医療装置のメーカーに指針をお問い合わせください。

スタイラスの使用

マグネット用エリア

使用しない場合は、スタイラス(平たい側)をディスプレイフレームの左か右側に収めてください。



スタイラスの書き込みペン先および消去ペン先

先が細目の方が表示スクリーンへの書き込み用です。スタイラスの持ち方は、ホワイトボードマーカーの持ち方と同様です。

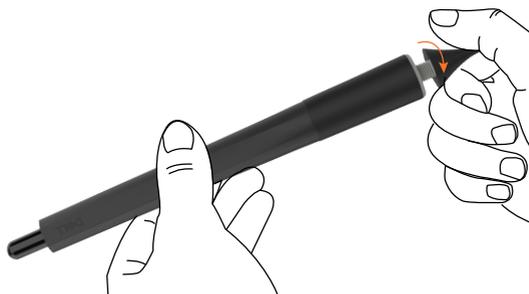


先が太めの方が消去機能として識別されます。ちょうど消しゴム付き鉛筆と同様な作用です



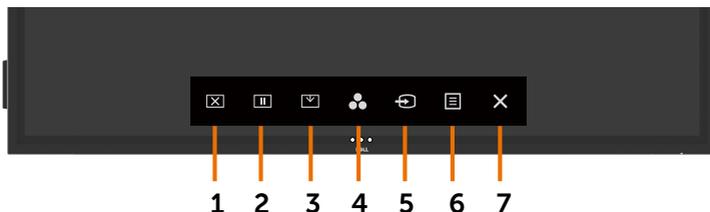
ペン先の交換

細目の先が摩耗したり裂けたりした場合は、ペン先のネジを緩めて交換することができます。



タッチコントロールランチャーの使用

ディスプレイの前面のタッチコントロールアイコンを使って、表示される画像の特性を調整します。これらのアイコンを使って、コントロールを調整するとき、OSD に変更する特性値が表示されます。



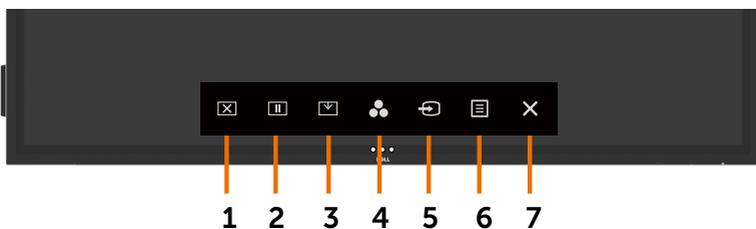
次の表は、タッチコントロールアイコンを説明します：

タッチコントロールアイコン	説明
1  画面オフ	このアイコンを使って、画面を黒色または白色に切り替えます。 メニューに進み、画面オフ時のカラーを選択します。 タッチキー  を使って、画面を復元します。
2  一時停止	画面を固定するために、押して、アクティブ化します。 タッチキー  を使って、画面を復元します。
3  画面降下	画像の上部に容易に到達できるよう、画面を下に下げます。 タッチキー  を使って、画面を復元します。
4  事前設定モード	このアイコンを使って、事前設定カラー モードのリストから選択します。
5  入力ソース	このアイコンを使って、入力ソースのリストから選択します。
6  メニュー	このメニューを使って、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSD メニューを選択します。 メニューシステムへのアクセス をご覧ください。
7  終了	このアイコンを使って、メインメニューに戻る、または、OSD メインメニューを終了します。

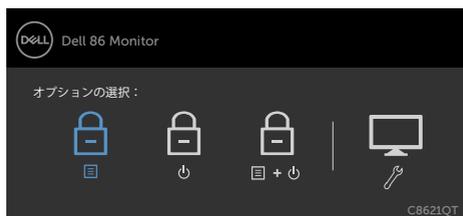


OSDのロック機能を使用中

1. OSDラウンチャー タッチキーを押してください。



2.  を5秒間タッチし続けてください。以下の選択肢が表示されます：



次の表は、タッチコントロールアイコンを説明します：

オプション	説明
1  OSDメニューのロック	このアイコンを使用して、OSDメニュー機能をロックします。
2  電源オフボタンのロック	このアイコンを使用して、オフにならないように電源ボタンをロックします。
3  OSDメニューと電源ボタンのロック	このアイコンを使用して、OSDメニューと電源ボタンがオフにならないようにロックします。
4  組み込み診断	このアイコンを使用して組み込み診断を実行します。詳細は 組み込み診断 をご覧ください。



3.  を5秒間タッチし続けてください。 をタッチしてロックを解除します。



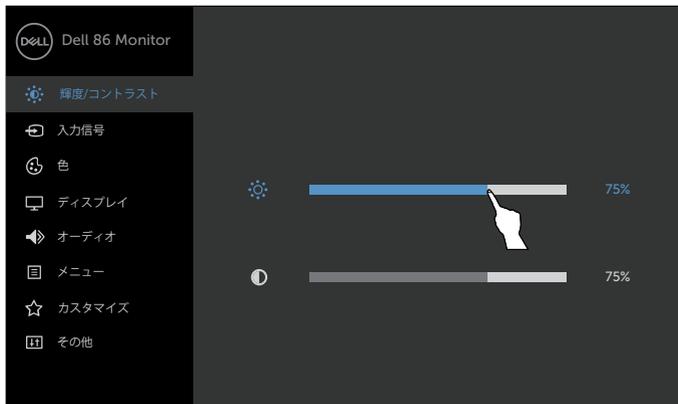
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムへのアクセス

 注: 別な OSD メニューに移動する、OSD メニューを終了する、または、OSD メニューが非表示になるのを待機する場合、

OSD メニューを使って行った変更が、自動的に保存されます。

- 1 リモコンの  アイコンまたは OSD ランチャータッチキーを押して、OSD メニューを起動します。



アイコンを使って、画像設定を調整します。

タッチコントロールアイコン

説明

1



上



下

上 (増やす) および 下 (減らす) アイコンを使って、OSD メニューの項目を調整します。

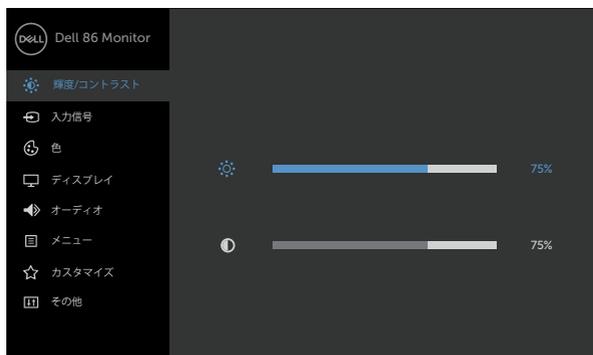


- | | | | |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 2 | 
左 | 
右 | 左 (減らす) および 右 (増やす) アイコンを使って、OSD メニューの項目を調整します。 |
| 3 | 
OK | | OK アイコンで、選択を確認します。 |
| 4 | 
戻る | | 戻る アイコンで、前のメニューに戻ります。 |

タッチ OSD コントロール

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
------	---------------	----

	輝度/コントラスト	このメニューを使って、 輝度/コントラスト 調整をアクティブ化します。
----------------------------------------------------------------------------------	-----------	--------------------------------------------



輝度	輝度 は、バックライトの輝度 (最小 0、最大 100) を調整します。
-----------	---------------------------------------------

 アイコンにタッチして、輝度を上げます。

 アイコンにタッチして、輝度を下げます。

コントラスト	最初に 輝度 を調整し、その後、 コントラスト を調整します (更なる調整が必要な場合)。
---------------	-------------------------------------------------------------

 アイコンにタッチして、コントラストを上げ、 アイコンにタッチして、コントラストを下げます (0 から 100 の間)。

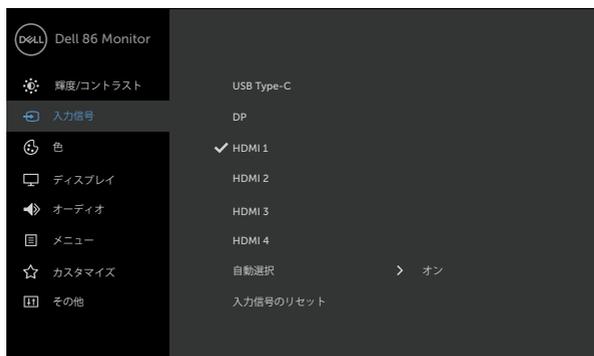
ディスプレイの暗さと明るさの間の差のコントラストを調整します。





入力ソース

入力ソースメニューは、ディスプレイに接続されている異なる動画入力間を選択します。



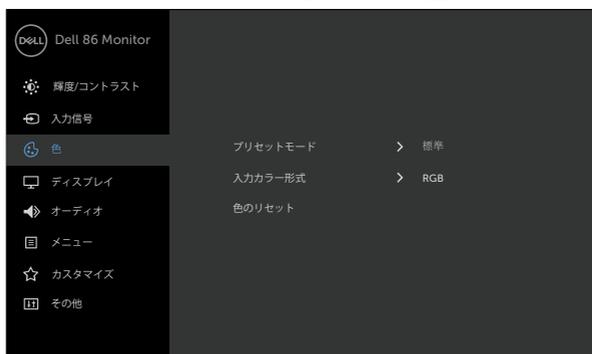
USB Type-C	USBタイプC コネクターを使用する際は、 USBタイプC 入力を選択します。
DP	DP コネクターを使用する際は、 DP 入力を選択します。
HDMI 1	HDMI 1 コネクターを使用する際は、 HDMI 1 入力を選択します。
HDMI 2	HDMI 2 コネクターを使用する際は、 HDMI 2 入力を選択します。
HDMI 3	HDMI 3 コネクターを使用する際は、 HDMI 3 入力を選択します。
HDMI 4	HDMI 4 コネクターを使用する際は、 HDMI 4 入力を選択します。
自動選択	USB Type-C コネクターを使用する際は、 自動選択 を選択すると、ディスプレイは、利用可能な入力ソースを走査します。
入力ソースのリセット	ディスプレイの 入力ソース 設定を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。





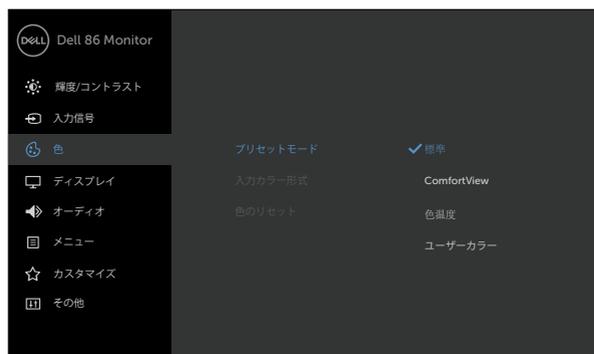
カラー

カラーメニューは、カラー設定モードを調整します。



事前設定モード

事前設定モードを選択すると、リストから、標準、ComfortView、色温度、または、カスタムカラーを選択することができます。



- **標準:** デフォルトカラー設定。これは、デフォルト事前設定モードです。
- **ComfortView:** 画面から放射されるブルーライトのレベルを下げ、眼に快適な表示にします。

注: ディスプレイの長時間の使用による眼精疲労および首/腕/背中/肩の痛みを減らすため、以下を提案します:

- 画面を眼から約 20 ~ 28 インチ (50 ~ 70 cm) 離して設定すること。
- ディスプレイを使って作業するときは、眼を濡らすため、頻繁に瞬きをすること。
- 2 時間毎に 20 分間、定期的および頻繁に休憩をとること。



- 休憩中は、ディスプレイから眼を離し、少なくとも 20 秒間、20 フィート離れた物体を凝視すること。
 - 休憩中は、首/腕/肩の張りを解放するため、ストレッチを行うこと。
 - **色温度:** スライダーを 5,000K に設定すると、赤色/黄色の色合いを使って、画面が暖色に表示されます。また、スライダーを 10,000K に設定すると、青色の色合いを使って、画面が冷色に表示されます。
 - **カスタムカラー:** 手動でカラー設定を調整することができます。
- ◀ および ▶ アイコンにタッチして、赤色、緑色、および、青色の値を調整したり、独自の事前設定カラーモードを作成したりすることができます。

入力カラー形式 以下の動画入力モードを設定することができます:

- **RGB:** HDMI、DP または USB Type-C ケーブルを使って、ディスプレイをコンピューター (または、DVD プレーヤー) を接続する場合、このオプションを選択します。
- **YPbPr:** ご利用の DVD プレーヤーが、YPbPr 出力をサポートする場合のみ、このオプションを選択します。



カラーのリセット

ご利用のディスプレイのカラー設定を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。

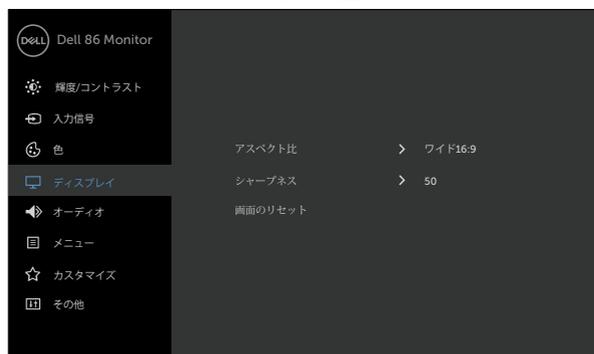


アイコン メニューおよびサブメニュー 説明



ディスプレイ

位相メニューを使って、画像を調整します。



アスペクト比

画像のアスペクト比を**ワイド 16:9**、**4:3** または **5:4** に調整します。

シャープネス

画像をシャープまたはソフトにします。

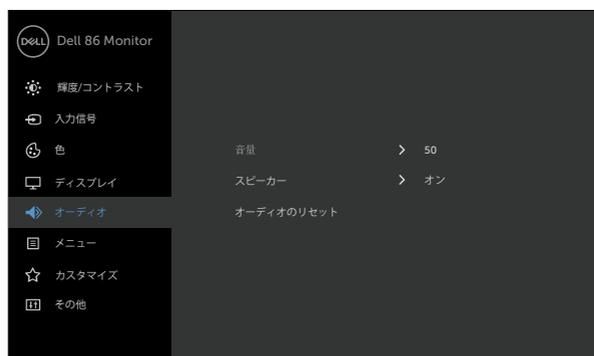
▲ または ▼ を使って、シャープネスを「0」～「100」の間で調整します。

表示のリセット

表示設定を工場出荷時デフォルト設定に復元します。



オーディオ



音量

オーディオソースの音量レベルを設定することができます。

▲ または ▼ を使って、音量レベルを「0」～「100」の間で調整します。

スピーカー

スピーカー機能を有効化または無効化することができます。

オーディオのリセット

このオプションを使って、デフォルトオーディオ設定を復元します。



アイコン メニューおよびサブメニュー 説明



メニュー

このオプションを選択して、OSD の言語、画面上のメニューの表示時間などの OSD 設定を調整します。



言語 OSD 表示を 8 つの言語の 1 つに設定します。
(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語 (ブラジル)、簡体字中国語、または、日本語)。

透明度 ▲ および ▼ アイコン (最小 0/最大 100) を使って、このオプションを選択して、メニューの透明度を変更します。

タイマー **OSD 保持時間:** ボタンを押した後表示される OSD の時間を設定します。

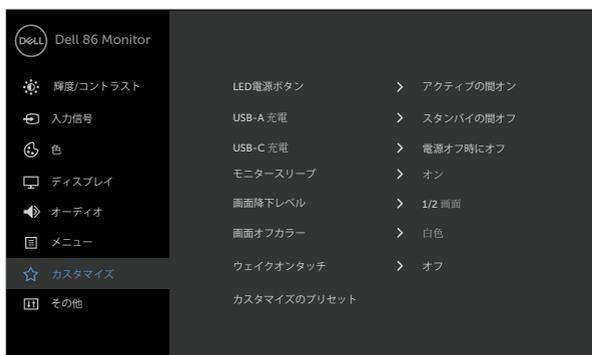
▲ および ▼ アイコンを使って、1 秒単位、5 ~ 60 秒の範囲で、スライダーを調整します。

メニューのリセット メニュー設定を工場出荷時デフォルト設定に復元します。





個人用設定



電源ボタン LED	電源ライトの状態を設定し、エネルギーを節約することができます。
USB-A 充電	モニターがスタンバイモードになっている時に、USBタイプAおよびUSBタイプCダウンストリームポートの充電機能を有効または無効にできます。 ご注意: このオプションは、旧式モニターのファームウェア版では「USB」と呼ばれていました。
USB-C 充電	モニターが電源オフモード中に、USB Type-C充電常時オン機能を有効または無効にすることができます。 ご注意: モニターでこのオプションを有効にすると、モニターの電源がオフになっている場合でも、USBタイプCケーブル(C to C)経由でラップトップを充電できます。
モニタースリープ	無効化を選択して、この機能をオフに切り替えます。
画面降下レベル	画像の上部に容易に到達できるよう、画面下降レベルを設定することができます。 画面下降レベルのオプション: - 1/2 画面 - 1/3 画面 - 2/3 画面
画面オフカラー	画面オフカラーを白色または黒色に設定することができます。
ウェイクオンタッチ	USB Type-C コネクタを使用する際は、 有効化 を選択して、この機能をオンに切り替えます。
個人用設定のリセット	ショートカットキーを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。





その他



このオプションを使って、DDC/CI、LCD コンディショニングなどの OSD 設定を調整します。

ディスプレイ情報

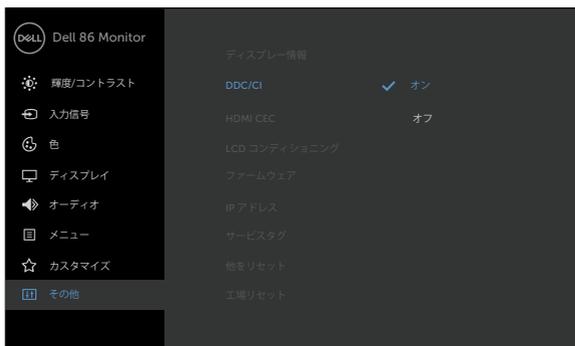
ディスプレイの現在の設定を表示します。

DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス) により、コンピューター上でソフトウェアを使用して、表示設定を調整することができます。

無効化を選択して、この機能をオフに切り替えます。

この機能を有効化して、最良のユーザーエクスペリエンスを実現し、ご利用のディスプレイの性能を最適化します。



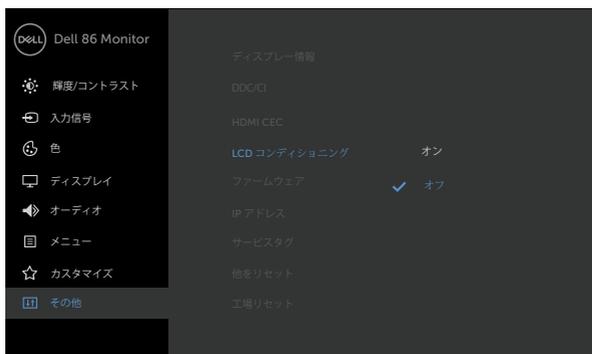
HDMI CEC

HDMI CEC機能のオンまたはオフを切り替えることができます。



アイコン メニューおよび サブメニュー 説明

LCDコンディショニング 小さな残像を減らすことができます。残像レベルにより、プログラムは、実行に時間がかかる場合があります。**有効化**を選択し、プロセスを開始します。



ファームウェア 現在のファームウェアのバージョン。

IP アドレス IP アドレスを表示します。

サービスタグ サービスタグを表示します。

その他のリセット DDC/CI などのその他の設定を工場出荷時 デフォルト設定にリセットします。

工場出荷時デフォルト設定へのリセット すべてのプリセット値を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。これは ENERGY STAR® 試験向けの設定でもあります。



OSD 警告メッセージ

ディスプレイが、特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます：

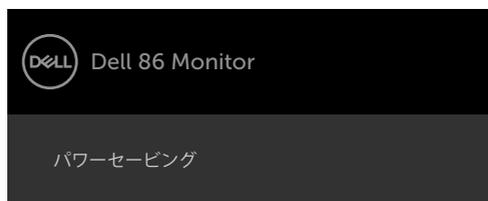


これは、ディスプレイが、コンピューターから受信する信号に同期できないことを意味します。このディスプレイにより、対処可能な水平および垂直周波数範囲については、[ディスプレイの仕様](#)をご覧ください。推奨されるモードは、3840 x 2160 です。

DDC/CI 機能を無効化する前に、次のメッセージが表示されます：



ディスプレイが、**省電力モード**に入るとき、次のメッセージが表示されます：



電源ボタン以外のボタンを押すと、選択された入力に応じて、次のメッセージが表示されます：



HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、HDMI 4、DP または USB Type-C 入力のいずれかが選択され、対応するケーブルが接続されていない場合、以下のフローティングダイアログボックスが表示されます。



または



または



または



または



または



更なる情報については、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。



ディスプレイ用 Dell Web 管理

Dell ディスプレイ Web 管理機能にアクセスする前に、イーサネットが正常に動作していることを確認してください。



• イーサネットの有効化

前面パネル上のタッチキー 5 を 4 秒間長押しして、オンに切り替えます。ネットワークアイコン  が、4 秒間、左上隅に表示されます。

• イーサネットの無効化

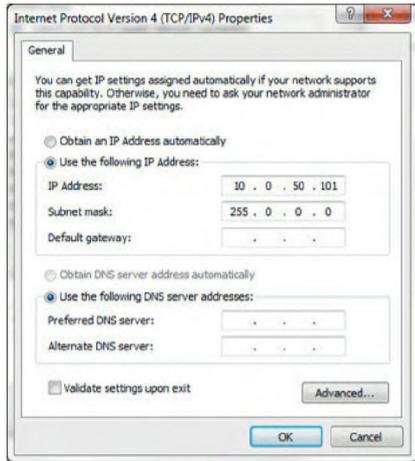
フロントパネルのタッチキー 5 を 4 秒間タッチしたままにして、オフに切り替えます。ネットワークアイコン  が表示され、中央に 4 秒間表示されます。

Dell ディスプレイ Web 管理ツールにアクセスするには、ご利用のコンピューターおよびディスプレイに IP アドレスを設定する必要があります。

1. リモコンのメニューキーを押して、ディスプレイの IP アドレスを表示します。または、OSD メニュー > その他に移動します。デフォルトでは、IP アドレスは、10.0.50.100 です



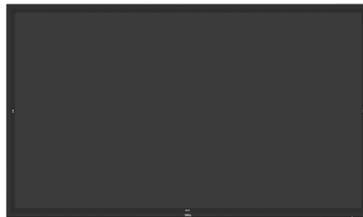
2. コンピューターの IP プロパティタブで、次の IP アドレスを使用するを選択することにより、IP アドレスを指定し、次の値を入力します:IP アドレスの場合: 10.0.50.101 およびサブネットマスクの場合: 255.0.0.0 (他のすべてのエントリーを空白のままにします)。



3. IP アドレス構成は、次のようになります:



Configure notebook IP Address to
10.0.50.101



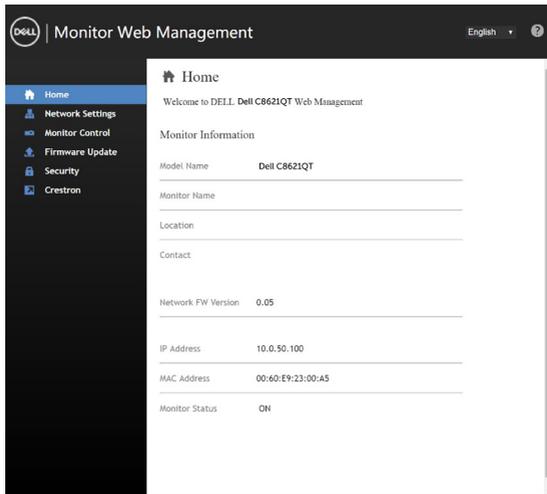
Monitor IP Address
10.0.50.100

Web 管理ツールにアクセスかつ使用するには、次の手順に従います:

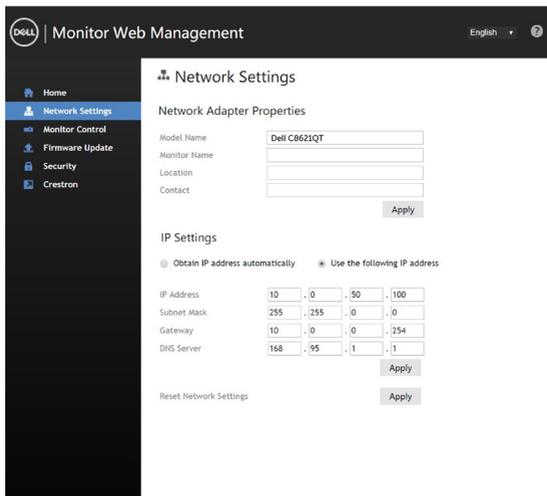
1. Web ブラウザーを開き、アドレスバーにディスプレイの IP アドレス (10.0.50.100) を入力します。
2. ログインページが開きます。管理者パスワードを入力して、続行します。



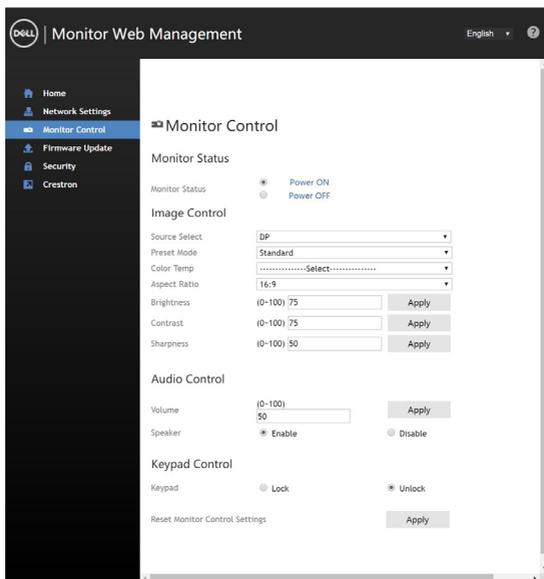
3. ホームページが開きます:



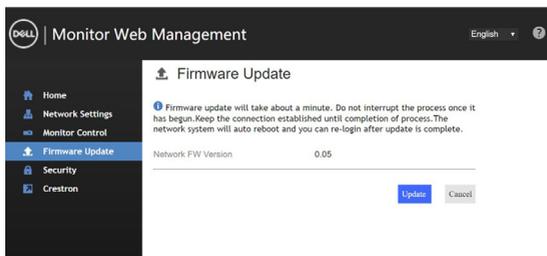
4. ネットワーク設定を確認するには、ネットワーク設定をクリックします。



5. ディスプレイのステータスを確認するには、**ディスプレイコントロール**をクリックします。



6. **ファームウェア**を更新します。Dell サポート Web サイト (www.dell.com/support) から、最新のドライバーをダウンロードすることができます。



7. **ファームウェアアップグレード**ページが表示されますので、30 秒間待機します。

Upgrade Firmware

Please select a file (~.dld) to upgrade :

(Upgrading firmware may take 60 seconds)

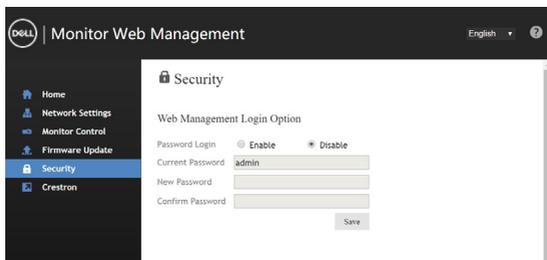
Upgrade must NOT be interrupted !



8. 完了しました。ボタンをクリックして、8 秒後に次に進みます。



9. パスワードを設定するには、**セキュリティ**をクリックします。



10. **Crestron** をクリックして、インターフェイスを制御します。



トラブルシューティング

⚠ 警告: 本セクションの手順を開始する前に、**安全に関する指示事項**に従ってください。

セルフテスト

ご利用のディスプレイには、セルフテスト機能が装備されており、ディスプレイが正常に機能しているかどうかを確認することができます。ディスプレイおよびコンピューターが正しく接続されており、ディスプレイ画面が暗いままの場合は、次の手順を実行することにより、ディスプレイのセルフテストを実行します:

1. ご利用のコンピューターとディスプレイをオフに切り替えます。
2. コンピューターの背面から動画ケーブルを取り外します。適切なセルフテスト動作を保証するために、コンピューターの背面からすべてのデジタルおよびアナログケーブルを取り外します。
3. ディスプレイをオンに切り替えます。

ディスプレイが動画信号を感知できず、正常に動作している場合、フローティングダイアログボックスが、画面上 (黒色バックグラウンドに対して) に表示されます。セルフテストモード中、電源LEDは、白色のままです。また、選択された入力に応じて、以下のダイアログの1つが、画面を通して、継続的にスクロールします。



または



または



または



または



または



4. また、動画ケーブルが切断または損傷した場合、システムの正常動作中、このボックスが表示されます。
 5. ディスプレイをオフに切り替え、動画ケーブルを再接続します。その後、コンピューターとディスプレイをオンに切り替えます。
- 前述の手順を使用した後、ディスプレイが、黒色のままである場合、ディスプレイが正常に機能しているの、動画コントローラーおよびコンピューターを確認してください。



内蔵診断

ご利用のディスプレイには、診断ツールが内蔵されており、発生している画面の異常性が、ディスプレイ、コンピューター、または、動画カードに固有の問題であるかどうかを確定することができます。



内蔵診断を実行するには:

1. 画面が清潔であること (画面の表面に埃がないこと) を確認します。
2. ロック選択オプションで  を5秒間タッチし続けてください。自己点検アイコンの  をタッチします、灰色画面が表示されます。
3. 慎重に画面の異常性を検査します。
4. 前面パネルにタッチします。画面のカラーが赤色に変化します。
5. ディスプレイの異常性を検査します。
6. 手順 4 および 5 を繰り返し、緑色、青色、黒色、白色およびテキスト画面の表示を検査します。

テキスト画面が表示されると、テストが完了します。終了するには、再度、パネルにタッチします。

内蔵診断ツールを使って、画面の異常性が検出されない場合、ディスプレイは正常に機能しています。動画カードおよびコンピューターを確認します。



一般的な問題

次の表には、発生する可能性があるディスプレイに関する良くある問題に関する一般的な情報および可能性のある解決策が含まれています：

良くある症状	以下が発生した場合	可能性のある解決策
動画が表示されません/電源 LED はオフです	画像が表示されません	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイおよびコンピューターに接続される動画ケーブルが適切に接続かつ固定されていることを確認します。• 他の電気機器を使って、コンセントが正常に機能していることを確認します。• 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。• 正しい入力ソースが、入力ソースメニューで選択されていることを確認します。
動画が表示されません/電源 LED はオンです	画像が表示されません。または、輝度がありません	<ul style="list-style-type: none">• OSD を介して、輝度 & コントラスを上げます。• ディスプレイのセルフテスト機能チェックを行います。• 動画ケーブルコネクターの曲がったピンまたは壊れたピンを確認します。• 内蔵診断を実行します。• 正しい入力ソースが、入力ソースメニューで選択されていることを確認します。
フォーカスが合っていない	画像がぼやけている、はっきりしない、またはゴーストが起ります	<ul style="list-style-type: none">• 動画延長ケーブルを排除します。• ディスプレイを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。• 動画解像度を正しいアスペクト比に変更します。
動画がぶれる/不安定です	画像が波打つ又は小さく動きます	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。• 環境要因を確認します。• ディスプレイを再配置し、別な部屋でテストします。
ピクセルが欠けています	LCD 画面にスポットがあります	<ul style="list-style-type: none">• 電源のオン-オフ尾を繰り返します。• 恒久的にオフであるピクセルは、LCD 技術で発生する通常の欠陥です。• Dell のディスプレイ品質およびピクセルに関するポリシーについては、Dell サポート Web サイト (http://www.dell.com/support/monitors) をご覧ください。
ピクセルが貼りついています	LCD 画面に明るいスポットがあります	<ul style="list-style-type: none">• 電源のオン-オフ尾を繰り返します。• 恒久的にオフであるピクセルは、LCD 技術で発生する通常の欠陥です。• Dell のディスプレイ品質およびピクセルに関するポリシーについては、Dell サポート Web サイト (http://www.dell.com/support/monitors) をご覧ください。
輝度に関する問題	画像が暗すぎる、または、明るすぎます	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。• OSD を介して、輝度 & コントラスを調整します。
オーディオに関する問題	音声が出ません	<ul style="list-style-type: none">• 再生が正しく選択されているかどうか、PC 設定を確認します。• 他の動画ケーブルを確認します。• OSD を介して、スピーカーが有効化されていることを確認します。



良くある症状	以下が発生した場合	可能性のある解決策
形状的に歪んでいます	画面が正しくセンタリングされていません	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。
同期に関する問題	画面がスクランブルされている、または、分裂しています	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。 ディスプレイのセルフテスト機能チェックを実行し、スクランブルされた画面が、セルフテストモードで表示されるかどうかを決定します。 動画ケーブルコネクタの曲がったピンまたは壊れたピンを確認します。 コンピューターをセーフモードで再起動します。
安全に関連する問題	煙または火花の兆候が見えます	<ul style="list-style-type: none"> トラブルシューティング手順を実行しないでください。 直ちに、Dell に連絡してください。
間欠的に途切れる問題	ディスプレイが誤動作し、オン & オフします	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイとコンピューターを接続される動画ケーブルが適切に接続かつ固定されていることを確認します。 ディスプレイを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。 ディスプレイのセルフテスト機能チェックを実行し、間欠的に途切れる問題が、セルフテストモードで発生するかどうかを決定します。
カラーが欠落します	画像のカラーが欠落しています	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイのセルフテストを行います。 ディスプレイとコンピューターを接続される動画ケーブルが適切に接続かつ固定されていることを確認します。 動画ケーブルコネクタの曲がったピンまたは壊れたピンを確認します。
カラーの誤り	画像のカラーが良くありません	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーションに応じて、カラーメニュー OSD で、事前設定モードの設定を変更します。 カラーメニュー OSD のカスタムカラーの下で、R/G/B 値を調整します。 カラー OSD メニューで、PC RGB または YPbPr に対する入力カラー形式を変更します。 内蔵診断を実行します。
長時間ディスプレイ上に表示された静的画像による残像	表示された静的画像からの弱い影が画面上に表示されます	<ul style="list-style-type: none"> 使用しないときは、電源管理機能を使って、常にディスプレイをオフに切り替えます (更なる情報については、電源管理モードをご覧ください)。 または、動的に変換するスクリーンセーバーを使用します。
タッチスクリーンが応答しません	ディスプレイをウェイクオンタッチできません	<ul style="list-style-type: none"> OSD を介して、ウェイクオンタッチが有効化されていることを確認します。ウェイクオンタッチは、デフォルトでオフです。



製品仕様に関する問題

固有の症状	以下が発生した場合	可能性のある解決策
画面画像が小さすぎます。	画像は、画面上でセンタリングされますが、全表示領域に表示されません	<ul style="list-style-type: none">表示メニュー OSD で、アスペクト比設定を確認します。ディスプレイを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。
タッチ OSD を使って、表示を調整できません	OSD が、画面上に表示されません	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイをオフに切り替え、ディスプレイの電源ケーブルを取り外し、再度接続し、その後、ディスプレイをオンに切り替えます。OSD メニューがロックされているかどうかを確認します。ロックされている場合は、 アイコンを 4 秒間タッチして、ロック解除します。
ユーザーコントロールが押された時、入力信号がありません	画像が表示される、LED ライトが白色です	<ul style="list-style-type: none">信号ソースを確認します。マウスを動かす、または、キーボード上のキーを押して、コンピューターが省電力モードでないことを確認します。信号ケーブルが、適切に接続されているかどうかを確認します。必要に応じて、信号ケーブルを再接続します。コンピューターおよびビデオプレーヤーをリセットします。
画像が全画面に表示されません	画像が、画面の幅または高さ全体に表示されません	<ul style="list-style-type: none">DVD の異なる動画形式 (アスペクト比) により、ディスプレイは、全画面に表示しない場合があります。内蔵診断を実行します。
コンピュータ、ノートパソコンなどへの USB タイプ C 接続を使用すると画像が表示されません	ブランク画面	<ul style="list-style-type: none">デバイスの USB タイプ C インターフェイスが DP 代替モードをサポートできるかどうかを確認します。デバイスが 90 W 以上の電力を充電する必要があるかどうかを確認します。デバイスの USB タイプ C インターフェイスは、DP 代替モードをサポートできません。Windows を投影モードに設定します。USB タイプ C ケーブルが損傷していないことを確認します。



固有の症状	以下が発生した場合	可能性のある解決策
コンピューターやノートPCなどへUSB Type-C接続を使用しているときは充電されません	充電されません	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスが5 V/9 V/15 V/20 V充電プロファイルのいずれかをサポートできるかどうかを確認します。 • ラップトップに90W以上の電源アダプターが必要かどうか確認してください。 • ラップトップに90W以上の電源アダプターが必要な場合、USB Type-C接続では充電できない場合があります。 • Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 • USBタイプCケーブルが損傷していないことを確認します。
コンピューターやノートPCなどへUSB Type-C接続を使用しているときは断続的に充電される	断続的な充電	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスの最大消費電力が90Wを超えていないか確認します。 • Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 • USBタイプCケーブルが損傷していないことを確認します。

タッチスクリーンに関する問題

固有の症状	以下が発生した場合	可能性のある解決策
タッチレポートエラー	タッチ機能のずれ、またはタッチが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> • Dellが提供するUSBケーブルを使用して、コンピューターに接続してください。 • 電源ケーブルにアース端子があることを確認してください。 • タッチモジュールを初期化できるよう、電源ケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。 • コンピューターがUSB2.0以上をサポートしていることを確認します。 • コンピューターがディスプレイを検出できない場合は、モニターの電源を入れ直すか、またはUSBケーブルを挿し直してください。
省電力モードでタッチスクリーンが反応しない	省電力モードでタッチを使用して、モニターやコンピューターを起動することができない	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスマネージャーにアクセスし、ヒューマンデバイスからHIDインタフェースデバイスを展開します。 • HID準拠デバイスを右クリックし、プロパティをクリックし、デバイスがコンピューターを起動できるようにチェックボックスを選択します。 • ディスプレイのOSD「タッチしてウェイクアップ」設定が有効になっているか確認してください。



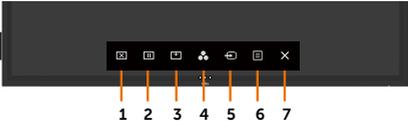
ユニバーサルシリアルバス (USB) 固有の問題

固有の症状	以下が発生した場合	可能性のある解決策
USB インターフェイスが動作していません	USB 周辺機器が動作していません	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイがオンに切り替えられていることを確認します。• アップストリームケーブルをコンピューターに再接続します。• USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再接続します。• ディスプレイをオフに切り替え、再度、オンに切り替えます。• コンピューターを再起動します。• 外部ポータブル HDD などの一部の USB デバイスは、より高い電流を必要とします。デバイスをコンピューターシステムに直接接続してください。
超高速 USB 3.1 インターフェイスが低速です。	超高速 USB 3.1 周辺機器の動作が遅い、または、全く動作しません	<ul style="list-style-type: none">• ご利用のコンピューターが、USB 3.1 互換であることを確認します。• 一部のコンピューターには、USB 3.1、USB 3.0、USB 2.0、および、USB 1.1 ポートが装備されています。正しい USB ポートが使用されていることを確認します。• アップストリームケーブルをコンピューターに再接続します。• USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再接続します。• コンピューターを再起動します。
無線 USB 周辺機器は、USB 3.1 デバイスが接続されると動作を停止します	無線 USB 周辺機器は、受信機との間の距離が近くなると、応答が遅くなる、または動作しなくなります	<ul style="list-style-type: none">• USB 3.1 周辺機器と無線 USB 受信機との間の距離を広げます。• 無線 USB 受信機を無線 USB 周辺機器に可能な限り近く配置します。• USB 延長ケーブルを使って、無線 USB 受信機を可能な限り USB 3.1 ポートから離します。
USB ポートが動作していません	USB 機能がありません	入力ソースおよび USB ペアリングの表を参照します



イーサネットに関する問題

固有の症状	以下が発生した場合	可能性のある解決策
イーサネットが動作しません	ディスプレイ用 Dell Web 管理 Web ページが動作していません	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイに接続されているネットワークケーブルが適切に固定されていることを確認します。• 画面上のアイコンを 4 秒間長押しして、オンに切り替えます。ネットワークアイコン  が表示され、中央に 4 秒間表示されます。• 前面パネル上のアイコン 5 を 4 秒間長押しして、オフに切り替えます。ネットワークアイコン  が表示され、中央に 4 秒間表示されます。



安全に関する指示事項

光沢のあるベゼル付きディスプレイの場合、ベゼルが、周辺光および明るい面から乱反射を引き起こす可能性がありますので、ディスプレイの配置を考慮する必要があります。

⚠ 警告:本書で指定されている以外の制御、調整または手順を使用すると、衝撃、電気的な危険および/または機械的な危険に曝される恐れがあります。

安全に関する指示事項に関する情報については、安全、環境および規制情報 (SERI) をご覧ください。

FCC 通知 (米国のみ) および他の規制に関する情報

FCC 通知 (米国のみ) および他の規制に関する情報については、規制・コンプライアンス Web サイト (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

Dell へのお問合せ

✍ 注: インターネット接続を利用できない場合、連絡先情報は、購入請求書、梱包明細書、請求書、または、Dell 製品カタログに記載されています。

Dell は、オンラインおよび電話ベースのサポート/サービスオプションを提供しています。可用性は、国および製品により異なります。また、一部のサービスは、お住まいの地域によっては、利用できない場合があります。

オンラインでディスプレイサポートを取得するには:

www.dell.com/support/monitors をご覧ください。

Dell の営業、技術サポート、または、お客様サービスに連絡するには:

1. www.dell.com/support にアクセスしてください。
2. ページの左上隅の国/地域ドロップダウンメニューで、国または地域を確認してください。
3. 国ドロップダウンの隣のお問合せをクリックしてください。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択してください。
5. 適切な Dell への連絡方法を選択してください。



ディスプレイの設定

ディスプレイの解像度を 3840 x 2160 (最大) に設定する

最良の性能を得るため、次の手順を行うことにより、ディスプレイの解像度を 3840 x 2160 に設定します：

Windows 7、Windows 8 または Windows 8.1 の場合：

1. Windows 8 または Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルをクラシックデスクトップを選択します。
2. デスクトップを右クリックし、**画面解像度をクリック**します。
3. 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、3840 x 2160 を選択します。
4. **OK** をクリックします。

Windows 10 の場合：

1. デスクトップを右クリックし、**表示設定** をクリックします。
2. **詳細表示設定** をクリックします。
3. 解像度ドロップダウンリストをクリックし、3840 x 2160 をクリックします。
4. **適用** をクリックします。

オプションとして、推奨される解像度が表示されない場合は、グラフィックスドライバーを更新する必要がある可能性があります。以下で、ご利用のコンピューターシステムを最も良く説明するシナリオを選択し、与えられる手順に従ってください。

Dell コンピューター

1. www.dell.com/support に進み、サービスタグを入力し、ご利用のグラフィックスカード用の最新のドライバーをダウンロードします。
2. ご利用のグラフィックスアダプター用のドライバーをインストールした後、再度、解像度を 3840 x 2160 に設定してください。

 **注：** 解像度を 3840 x 2160 に設定できない場合は、Dell に連絡し、これらの解像度をサポートするグラフィックスアダプターを問い合わせてください。



非 Dell コンピューター

Windows 7、Windows 8 または Windows 8.1 の場合:

1. Windows 8 または Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択し、クラシックデスクトップに切り替えてください。
2. デスクトップを右クリックし、個人用設定をクリックします。
3. **表示設定の変更**をクリックします。
4. **詳細設定**をクリックします。
5. ウィンドウの上部の説明から、ご利用のグラフィックスコントローラーのサプライ (例えば、NVIDIA、ATI、Intel など) を特定します。
6. 更新されたドライバーについては、グラフィックスカードのプロバイダーの Web サイト (例えば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>) を参照してください。
7. ご利用のグラフィックスアダプター用のドライバーをインストールした後、再度、解像度を 3840 x 2160 に設定してください。

Windows 10 の場合:

1. デスクトップを右クリックし、**表示設定**をクリックします。
2. **詳細表示設定**をクリックします。
3. **ディスプレイアダプターのプロパティ**をクリックします。
4. ウィンドウの上部の説明から、ご利用のグラフィックスコントローラーのサプライ (例えば、NVIDIA、ATI、Intel など) を特定します。
5. 更新されたドライバーについては、グラフィックスカードのプロバイダーの Web サイト (例えば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>) を参照してください。
6. ご利用のグラフィックスアダプター用のドライバーをインストールした後、再度、解像度を 3840 x 2160 に設定してください。

 **注:** 推奨される解像度に設定できない場合は、ご利用のコンピューターのメーカーに連絡するか、動画解像度をサポートするグラフィックスアダプターの購入を検討してください。



保守に関するガイドライン

ディスプレイの清掃

 **警告:** ディスプレイを清掃する前に、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。

 **注意:** ディスプレイを清掃する前に、[安全に関する指示事項](#)を読んで、従ってください。

ベストプラクティスのために、ディスプレイを開梱、清掃または取り扱うときは、以下のリストの手順に従ってください:

- 帯電防止画面を清掃するには、柔らかく、清潔な布を水で軽く湿らせます。可能であれば、帯電防止コーティングに適した特殊な画面清掃用ティッシュまたは溶液を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨剤クリーナー、圧縮空気を使用しないようにしてください。
- 軽く湿らせた柔らかい布を使って、ディスプレイを清掃します。また、一部の洗剤は、ディスプレイ上に乳白色の膜を残すので、洗剤を使用しないようにしてください。
- ディスプレイの開梱時に白い粉に気付いた場合は、布で拭き取ってください。
- 暗い色のディスプレイ、明るい色のディスプレイより、傷がつきやすく、白い擦り傷がつきやすいため、ディスプレイを慎重に取り扱ってください。
- ディスプレイの最高画質を維持するには、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用していないときはディスプレイをオフに切り替えてください。

